

令和2年度 第1回千葉市スポーツ推進審議会議事録

1 日 時 令和2年7月15日(水) 午後2時00分～午後3時30分

2 場 所 千葉市役所議会棟 第5委員会室

3 出席者 (委員)

小川直哉会長、本澤英雄副会長、小川重夫委員、五月女重夫委員、高橋薫委員
谷藤千香委員、萩原拓也委員、馬場宏輝委員、村松幸郎委員、山根和子委員
(事務局)

市民局生活文化スポーツ部
スポーツ振興課

那須部長
山崎課長、笠井補佐、曾根担当課長補佐、
堀主査、草場主査、前田主査、田口主任主事、
吉田主任主事

公益財団法人千葉市スポーツ協会
保健体育課

内藤施設長
地曳主任指導主事

オリンピック・パラリンピック調整課

貞石課長

オリンピック・パラリンピック振興課

平田課長

4 議 題

(1) 報 告

ア 令和元年度スポーツ振興事業実績及び令和2年度方針と施策について

イ 千葉市スポーツ推進計画の進行管理及び中間振り返りについて

(2) 議 事

ア 千葉市スポーツ推進計画中間見直しについて

5 議題の概要

(1) 報告

2項目の報告を行った。

(3) 議事

千葉市スポーツ推進計画中間見直しについてご審議いただいた。

6 会議経過

開 会 午後2時00分

【笠井課長補佐】 それでは、定刻になりましたので、ただいまより、「令和2年度第1回千葉市スポーツ推進審議会」をはじめさせていただきます。

本日の進行を務めます、スポーツ振興課の笠井でございます。

なお、本審議会は千葉市情報公開条例により、公開することになっておりますが、本日の傍聴者の方は1名でございます。

傍聴する方に申し上げます。受付の際にお配りしました傍聴要領をご一読いただきまして、ご理解・ご協力いただきますよう、お願いいたします。なお、会議終了後、議事録の作成を行い、開示されることとなりますので、あらかじめご了承願います。

それでは、初めに委員の皆様のご紹介をいたします。

<「委員一覧」に基づき紹介>

なお、委嘱状につきましては、委員の皆様にはご内諾をいただいておりますので、お手元に配布させていただきましたので、よろしく申し上げます。
続きまして、生活文化スポーツ部長の那須よりご挨拶申し上げます。

【那須 部長】 皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中、また、大変お足元の悪い中、お集まりいただき、ありがとうございます。また、日頃から、スポーツ行政にご尽力いただいておりますこと、御礼申し上げます。本スポーツ審議会でございますが、委員の任期は2年となっております。前回から引き続き、お引き受けいただいている方が、多くいらっしゃいますが、今年度から新たに3名の委員をお迎えし、これから2年間、スポーツ施策のご審議をお願いしたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。近況でございますが、皆様ご承知のとおり、プロ野球・サッカーJリーグにおいて、観客を入れた試合がようやく始まったところでございます。一方で、首都圏において、新型コロナウイルスの感染者が再び多く発生している状況であり、スポーツを取り巻く環境は依然として、厳しい状況ではございますが、予断を許さず、スポーツ施策を進めてまいりたいと考えております。いわゆる「ウィズコロナ」ということで、スポーツ行政についても、いろいろ考えなければいけないことが多いと思いますので、皆様からのお知恵をお借りしながら、施策を進めていきたいと考えております。また、今年度は、千葉市スポーツ推進計画の中間見直しを行う年となりますので、その内容について、ご審議いただき、本市のスポーツ実施率の向上、スポーツ活動がより活性化されるよう、皆様のご忌憚のない発言をいただけると幸いに存じます。本日は、どうぞよろしく申し上げます。

【笠井課長補佐】 続きまして、職員の紹介をいたします。

<職員紹介>

次に役員を選出でございますが、ここからは、会長・副会長が決まるまでの間、生活文化スポーツ部長の那須が仮議長を務めさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

【各 委 員】 <異議なし>

【那須 部長】 それでは、ご承認いただきましたので、しばらくの間、仮議長として、会議の進行を務めさせていただきます。お配りしている「令和2・3年度千葉市スポーツ推進審議会委員一覧」の裏面にあります「千葉市スポーツ推進審議会に関する条例」の第5条で会長、副会長を置くことになっております。同条第2項により、皆様の互選により決定いただくことになっております。立候補または推薦はございますでしょうか。

【小川（重）委員】 会長に小川直哉委員、副会長に本澤委員を推薦いたします。

【那須 部長】 ただいま、小川重夫委員より会長に小川直哉委員、副会長に本澤委員をとのご推薦

をいただきました。皆様、いかがでしょうか。

【各 委 員】<異議なし>

【那 須 部 長】皆様のご承認をいただきましたので、会長に小川直哉委員、副会長に本澤委員で決定したいと思います。ここまで仮議長を務めさせていただきましたが、進行を一旦、事務局に戻します。

【笠井課長補佐】それでは、小川直哉委員は会長席へ、本澤委員は副会長席へご移動ください。

<席移動>

小川直哉会長にご挨拶をお願いいたします。

【小川(直)会長】改めまして、こんにちは。本日は、お足元の悪い中、第1回スポーツ推進審議会にご参加いただきありがとうございます。この「スポーツ推進審議会」でございしますが、平成23年公布のスポーツ基本法第31条に基づいて設置されているもので、スポーツ推進計画、スポーツの推進にかかわる重要な事項について審議するものとなりまして、先ほどお話がありましており、委員の任期は2年となっています。ご承知のように、現在、新型コロナウイルスが世界を席卷しておりまして、日本は、特に、東京都をはじめとして、悪い状態に向かっているところでございます。また、那須部長からもお話がありましたが、プロ・アマ問わず、スポーツ界にとっても大きな打撃でございまして、特に、高校総体・夏の甲子園野球の中止、さらに国体は今年、鹿児島県で開催予定でございましたが、これも年内は中止、それに最大のスポーツイベントである東京オリンピック・パラリンピックの1年延期ということで、1年後に開催できることを切に願っているところでございます。いずれにいたしましても、スポーツというのは、健全な心身の育成、豊かで活力ある社会の実現のために、非常に重要なものとなっています。これから、千葉市のスポーツの振興・発展のために、委員の皆様方のお知恵を拝借いたしまして、2年間頑張っ参りたいと思います。どうぞよろしくをお願いいたします。

【笠井課長補佐】ありがとうございました。続きまして、本澤副会長にご挨拶をお願いいたします。

【本澤副会長】皆様、ご苦勞様です。今回、副会長を務めさせていただきます本澤です。我々スポーツ推進員においても、新型コロナウイルスの影響を受けており、一番大きなイベントであるバレーボール大会、普段120チームほどがエントリーして参加するのですが、これも、中止となりました。また、ジュニアスポーツを各地域で毎年12月までにかけて行っておるのですが、このような状況で、体育館や運動場に人を集めることが不可能ですので、今のところ、見通しが立っていない状況でございます。しかしながら、これからもスポーツを進めていく中で、皆様のご意見・お知恵をいただきまして、千葉市スポーツの振興に我々も努力をしていきたいと思っております。これから2年間、どうぞよろしく申し上げます。

【笠井課長補佐】ありがとうございました。以降の進行につきましては、小川直哉会長にお願いいたします。

【小川(直)会長】まず、議事録署名人についてでございますが、先ほど説明がありましており、本審議会は会議の公開がされているところです。議事録の確定方法につきましては、あらかじめ、指名された委員による承認にしたいと思います。よろしいでしょう

か。

【各 委 員】<異議なし>

【小川(直)会長】それでは、議事録署名人として、馬場委員にお願いします。

【馬場委員】よろしくをお願いします。

【小川(直)会長】それでは、会議次第に従いまして、進めてまいりたいと思います。最初に報告(1)令和元年度スポーツ振興事業実績及び令和2年度方針と施策について、スポーツ振興課よりお願いします。

【草場主査】<資料1により報告>

【小川(直)会長】続きまして、保健体育課よりお願いします。

【地曳主任指導主事】<資料2により報告>

【小川(直)会長】続きまして、公益財団法人スポーツ協会よりお願いします。

【内藤施設長】<資料3により報告>

【小川(直)会長】今までの報告の中で、ご質問ありますでしょうか。

【五月女委員】保健体育課にお伺いしたいのですが、わたくし、武道の指導者をしておりまして、資料2-1(1)キに記載されています、武道等指導充実・資質向上支援事業とありまして、その中に、複数競技のものがあり、昨年度、千葉市では合気道ということで、3校行ってきました。令和2年度は、コロナの関係もあると思うが、何校程度増えるのか、事業を継続するのか、伺いたい。

【地曳主任指導主事】五月女委員様には、昨年度、合気道の授業という事で、初めて学校の授業で取り入れることにご協力いただきました。令和2年度も、複数の武道を扱うというモデル校をとということで、増やしたいと考えています。また、教員向けの研修会でも取り入れてみようかと検討しているところでございます。また、ご協力いただきたいと考えています。

【五月女委員】実は、先日、日本武道館の冊子のほうで、スポーツ庁のほうからの複数武道の競技実績という事で、文章を作り、日本武道館に提出をしました。その中で、例えば、椿森中でいうと、合気道は試合がない武道ですので、武道というよりも道徳の授業とのクロスカリキュラムを考えていきたいといわれております。そういったことは、来年度に向けて、増えていく傾向にあるのか。教育委員会としてどのようなお考えをもって、今後、事業を進めていくのか、お考えを伺いたい。

【地曳主任指導主事】市内55校は、すべて柔道を扱っている状況にありますが、その中で、いろんな武道がありますので、取り上げられるものについては、拡充して、少しでも広げていけるように考えています。今年度に関しては、昨年度に合気道を始めましたので、合気道を拡充しようという計画でおります。

【五月女委員】一生懸命お手伝い致しますので、よろしくをお願いします。

【地曳主任指導主事】よろしくをお願いします。

【小川(直)会長】そのほか、質問ありますでしょうか。

【各 委 員】<なし>

【小川(直)会長】それでは、報告(2)千葉市スポーツ振興計画の進行管理及び中間振り返りについて、スポーツ振興課よりお願いします。

【草場主査】<資料4により報告>

【小川(直)会長】今の報告について、質問はありますでしょうか。

【小川(重)委員】31番の総合型地域スポーツクラブの支援ですが、評価がBということで、各区に

それぞれに総合型スポーツクラブが別々にできているということだが、今後さらに、新設や拡充等について、考えているのか。今後の考え方について伺いたい。

【山崎課長】今、現状あるものを進めていき、拡充できるものは拡充していく、各地区の方と相談しながら、進めていこうと考えている。

【高橋委員】たくさん事業があるが、特に、この中で、今年、力を入れてやっっていこうというものは何か。

【山崎課長】先ほどからも話が出ているとおり、新型コロナウイルスの影響を受けており、例えば、「サンスポマリンマラソン」は中止、昨年度から始めました「千葉シティトライアスロン」は、昨年度は台風で中止、今年度はコロナで中止ということで、残念な結果になっております。そして、今年、新たに誘致しました「ジャパンビーチゲームス」、これはお台場のほうで行われていたものですが、東京オリンピックの関係でお台場が使えないということで、我々で誘致しまして、稲毛の浜を使って、9月に予定をしております。市としても、負担金という形で協力しながら、今のところ、開催に向けて進めているところでございます。あえて言うのであれば、この、「ジャパンビーチゲームス」の成功に向けて、取り組んでいるところでございます。

【小川(直)会長】そのほか、質問ありますでしょうか。

【各委員】<なし>

【小川(直)会長】それでは、議事に入ります。議事(1)「千葉市スポーツ推進計画中間見直しについて」、説明をお願いします。

【草場主査】<資料5により説明>

【小川(直)会長】それでは、ご質問をお願いします。

【小川(重)委員】P13でパラスポーツに触れられているが、「パラスポーツ」という言葉について、パラリンピックの種目のことであると言う人もいるが、スポーツ庁の鈴木長官は、パラリンピックの種目にこだわらず、障害者がするスポーツ全体のことをいうと言っている。定義を注釈で記載したほうがよいのではないか。言葉の定義について確認したい。

【山崎課長】パラリンピックのスポーツという事には、こだわっていない。レクリエーションスポーツという捉え方で進めています。

【谷藤委員】前回までに、いろいろな方が意見を言われていたと思うが、まず、体裁的なところで、中間見直しで、今までの推進計画とここが違うところを、もっと明確に出してほしい。「拡充」「新規」が、いくつあるのか、第4章の最初に提示したほうが、よいのではないか。「主な取組事業」のところも、「継続」を先に示すのではなく、「新規」「拡充」を先に示したほうが、今まで、千葉市の事業で自分が関わるものはないなって思っていた人が、「こんな新しいことあるんだ」っていうところから入れるような、そんな体裁にしたほうがよいのではないか。また、前回までの決定の部分は3月までのところであって、そこから新型コロナウイルスで状況は大きく変わっているので、その部分をもっと入れるべきではないか。具体的には、今やっていることを広報するのではなく、こんな体制でやりましょうとか、今までとは違うソーシャル・ディスタンスであったり、そんなものを含めた事業を行っていかねばならないと思うので、そこについて取り組みますっていうのは、必要なのかなと思う。

【山崎課長】ご意見を、次回の審議会に、精査・反映し、お示ししたいと思います。

【馬場委員】今の新型コロナウイルスに関してですが、コロナの後、スポーツをどうしていくのか、については、何か一つメッセージがあってもいいと思っている。個人的には、いわゆる近代スポーツというのは行いにくくなって、遊びとかレクリエーションというのを中心に、今後行っていかなければいけないと思っている。

また、イベントはどんどん行いにくくなっていると思うので、イベントを拡充していくのは結構厳しいと思っている。ただ、プロのスポーツのようにビジネスとして行っているものは、リスク管理をきちりとして、行っていかなざるを得ないと思うので、そっちにうまくもっていくのは良いと思うが、市とか市民が主催するイベントや、子どもたちが参加する大会はやりにくくなって来るだろう。それに伴って、ボランティアも行いにくくなっていて、大学としては、課外活動をストップしていて、何かボランティアのチャンスがあっても、私が学生を連れていける状況にない。先日、パラスポーツフェスタ千葉の実行委員会でも、話をしたが、現状、ボランティアには、任せにくくて、きちりとリスク管理ができるアルバイトを雇ってやらざるを得ないと考えている。せっかくオリパラのレガシーで、ボランティアと今、言っているが、これは推進計画に記載することはできないが、私も考え方を変えないといけなく思っている。どっちかという、イベントよりも、日常的な活動をどう支援していくか、ウォーキング含めて一人でする活動、そちらにシフトしていく必要があると考えている。ただ、コロナで自粛していたら、公園で遊ぶ人、ランニングしている人が多くて、非常に驚いた。緊急事態宣言であそこまで押さえつけられると、人間は、体を動かしたくなるのだなと改めて感じたところである。そういう点を、うまく形にできたらいいなと思っている。

【村松委員】千葉市小中学校体育連盟の立場からお話させてもらおうと、プロ選手との交流というのは、子どもたちにとっては、すごく憧れで、子どもたちのスポーツ熱を高めることは、千葉市のスポーツ熱を高めることにつながると考えている。ジェフさんとカマリーズさんとの交流で、子どもたちは目を輝かせている。そういうところは、コロナの時期だが、広めていきたいと考えていると同時に、youtube 等での動画の配信等をうまく活用できないかと考えている。今、子供たちは、テレビを見なくなった分、みんな携帯でyoutube を見ている。そういうものをうまく活用して、スポーツの推進を図れないかと感じている。

【高橋委員】先ほど、ボランティアの話が出たが、ジェフは、ボランティアの組織があって、試合の運営のお手伝いをいただいているが、現状はストップしている状況である。スポーツのイベントの実施は、スタジアムの収容率の 50 パーセント、または 5,000 人の少ない方、その次がジェフでいくと 8,000 人という基準を作っているが、8,000 人の実施ができるようになって、ボランティアについては考えようという事になっているが、ボランティアの方は、あくまでもボランティアなので、もし、その方がコロナに感染すると、その方の本業・仕事にご迷惑がかかる。一方、アルバイトとしてきてもらえれば、仕事としてきてもらっているので、そこは割り切って色々なことを頼むことができるので、ボランティアの活用がすごく難しくなっていると感じている。オリンピック・パラリンピックも 1 年延期になり、ボランティア等の様々な面で、ご協力していきたいと考えているが、現状、ボランティアの活用について、難しくなってしまったと感じている。

【五月女委員】千葉公園ドーム工事の進捗状況や、それに対するイベントの誘致、自転車競技団体

との関わりはどのようになっているのでしょうか。また、隣の千葉公園の体育館の改修について、末広の武道館との使用の切り替えの時期等を伺いたい。

【山崎課長】まず、千葉公園ドームについてですが、所管は経済農政局になります。詳細は、お答えが難しいが、現在、工事中で、当初の予定では、今年の秋ごろに竣工予定であると聞いていたが、コロナの関係で、竣工時期が伸びていると聞いています。詳細は、経済農政局に確認し、お伝えいたします。千葉公園体育館については、スポーツ振興課が所管しており、現千葉公園体育館・末広の武道館・コミュニティセンターのプールを除いた体育施設を集約します。工事は今年度から行う予定で、竣工が令和4年度で、オープンは令和5年度からを目指しているところです。末広の武道館についてですが、集約する場合に、新しいところが建ってから、5年以内に集約前の施設を解体するという決まりがあるので、新しい体育館が建ってから、すぐには解体しないが、5年以内に取り壊すことを考えています。改めて、詳細が決まり次第、利用団体等に事前に連絡いたします。

【五月女委員】少年スポーツ連盟でいうと中央大会で利用していて、いつまで使えるのか、気になっていたところです。ありがとうございました。

【小川(直)会長】そのほかにご質問ありますでしょうか。

【各委員】<なし>

【小川(直)会長】それでは議事につきましては以上といたしますが、全般にわたりまして、ご質問等ありましたらお願いします。

【各委員】<なし>

【小川会長】それでは以上で協議を終了します。ご協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

【笠井課長補佐】それでは、これもちまして、「令和2年度第1回千葉市スポーツ推進審議会」を終わらせていただきます。ありがとうございました。

閉会 午後3時30分